

香川高等専門学校		開講年度	令和02年度 (2020年度)		授業科目	中国語Ⅱ	
科目基礎情報							
科目番号	1053			科目区分	一般 / 選択		
授業形態	授業			単位の種別と単位数	学修単位: 2		
開設学科	情報工学科（2018年度以前入学者）			対象学年	5		
開設期	後期			週時間数	2		
教科書/教材	「Let's try! すぐ使えるカンタン中国語」						
担当教員	前崎 麗						
到達目標							
中国語の常用表現の学習を通じて、中国語に関する基礎的な知識を理解する。							
ルーブリック							
		理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1 文に対する理解、中国語の初歩的理解力		文に対する理解を深め、中国語の初歩的理解力を養成することができる。		文に対する理解を深め、中国語の初歩的理解力を養成することができる程度できる。		文に対する理解を深め、中国語の初歩的理解力を養成することができない。	
評価項目2 初歩的作文の能力		初歩的作文の能力が身についている、		初歩的作文の能力をがある程度身につけている、		初歩的作文の能力が身についていない、	
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要	中国語の常用表現の学習を通じて、中国語に関する基礎的な知識を理解する。						
授業の進め方・方法	各学習項目ごとに、学習内容の解説とその関連事項を講義する。その講義を基に、繰り返し練習を行い、現実に使われている中国語に慣れる。 この科目は学習単位科目のため、事後課題として個人学習を課す。						
注意点	特になし						
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
後期	3rdQ	1週	動詞“有”、選択疑問文（		構文に対する理解を深め、中国語の理解力を養成する。 。B1:1-2,B2:1 -2		
		2週	動詞“有”、選択疑問文（		構文に対する理解を深め、中国語の理解力を養成する。 。B1:1-2,B2:1 -2		
		3週	量詞、動詞“在”、前置詞“离”（		構文に対する理解を深め、中国語の理解力を養成する。 。B1:1-2,B2:1 -2		
		4週	量詞、動詞“在”、前置詞“离”（		構文に対する理解を深め、中国語の理解力を養成する。 。B1:1-2,B2:1 -2		
		5週	部分否定、方位詞、自動詞“想”、“太 ～ 了”		構文に対する理解を深め、中国語の理解力を養成する。 。B1:1-2,B2:1 -2		
		6週	部分否定、方位詞、自動詞“想”、“太 ～ 了”		構文に対する理解を深め、中国語の理解力を養成する。 。B1:1-2,B2:1 -2		
		7週	前置詞“在”、前置詞“从”		構文に対する理解を深め、中国語の理解力を養成する。 。B1:1-2,B2:1 -2		
		8週	数量補語、助動詞“会”、様態補語		構文に対する理解を深め、中国語の理解力を養成する。 。B1:1-2,B2:1 -2		
	4thQ	9週	数量補語、助動詞“会”、様態補語		構文に対する理解を深め、中国語の理解力を養成する。 。B1:1-2,B2:1 -2		
		10週	“正在/在/正/ ～ 呢”、アスペクト助詞“了”、“”		構文に対する理解を深め、中国語の理解力を養成する。 。B1:1-2,B2:1 -2		
		11週	動詞の重ね型、助動詞“被”		構文に対する理解を深め、中国語の理解力を養成する。 。B1:1-2,B2:1 -2		
		12週	動詞の重ね型、助動詞“被”		構文に対する理解を深め、中国語の理解力を養成する。 。B1:1-2,B2:1 -2		
		13週	前期の学習をまとめ		構文に対する理解を深め、中国語の理解力を養成する。 。B1:1-2,B2:1 -2		
		14週	前期期末試験				
		15週	答案返却・解答		構文に対する理解を深め、中国語の理解力を養成する。 。B1:1-2,B2:1 -2		
		16週	答案返却・解答		構文に対する理解を深め、中国語の理解力を養成する。 。B1:1-2,B2:1		
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標			到達レベル	授業週
評価割合							
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	80	0	0	0	20	0	100
基礎的能力	80	0	0	0	20	0	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0